

国道15号 北品川1丁目での空洞調査について

1. 現地調査の実施

8月4日(火)に国道15号の北品川1丁目において「直轄国道の舗装(路面)に関する保全検討委員会(委員長:小泉淳 早稲田大学理工学術院教授)」の立会のもとで公開にて空洞調査を行いました。

2. 現地調査の結果

ハンディー型地中レーダー探査とスコープ探査及びFWD試験を現地で行いました。現地調査の結果、空洞が確認され委員長から以下の通りコメントがされました。

「委員長コメント」

北品川1丁目における国土交通省の調査では、路面からの深さ35~40cmの所に、およそ縦1.6m×横1.6m×厚さ42~47cmの空洞が確認されました。

なお、縦方向には、さらに薄い広がりも確認されています。

ただちに路面陥没につながるものとは思われませんが、原因を調査して、早めに何らかの補修をした方が良いと思われれます。

3. 国土交通省の対応

空洞が確認されたことを受け、出来るだけ早急に原因調査をかねて補修を行います。

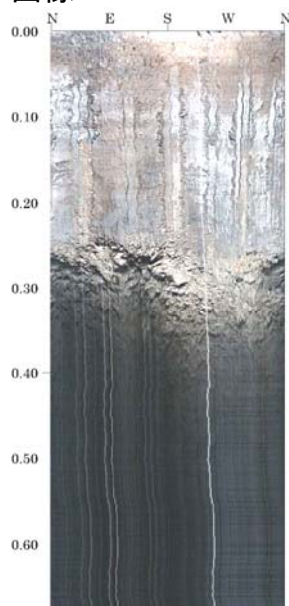
調査風景写真



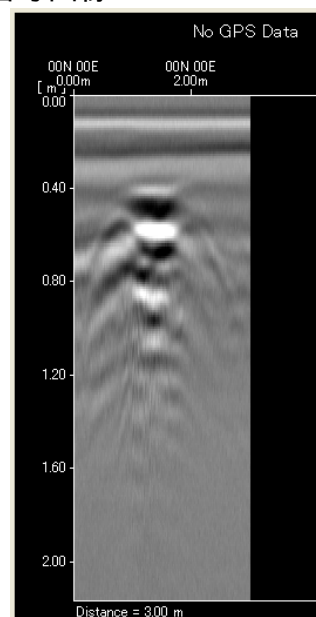
平面図



スコープ画像



異常信号画像



問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局道路部

道路保全企画官 石井 武(電話048-600-1323)

国土交通省道路局国道・防災課

課長補佐

信太啓貴(電話03-5253-8494)

国道15号 高輪3丁目での空洞調査について

1. 現地調査の実施

8月4日(火)に国道15号の高輪3丁目において「直轄国道の舗装(路面)に関する保全検討委員会(委員長:小泉淳 早稲田大学理工学術院教授)」の立会のもとで公開にて空洞調査を行いました。

2. 現地調査の結果

ハンディー型地中レーダー探査とスコープ探査及びFWD試験を現地で行いました。現地調査の結果、空洞が確認され委員長から以下の通りコメントがされました。

「委員長コメント」

高輪3丁目における国土交通省の調査では、路面からの深さ57cmの所に、およそ縦1.5m×横1.3m×厚さ23cmの空洞が確認されました。

ただちに路面陥没につながるものとは思われませんが、何らかの補修をした方が良いと思われます。

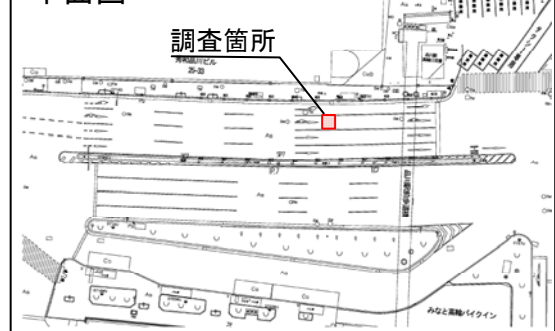
3. 国土交通省の対応

当該箇所は、予定されている舗装工事との工程調整を行いながら、計画的に補修を行います。

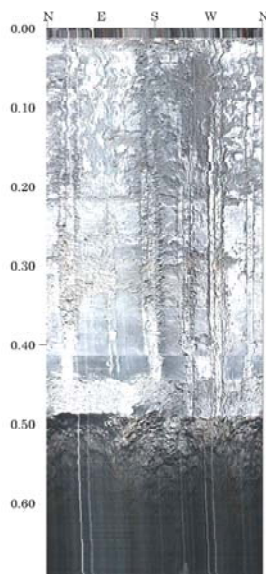
調査風景写真



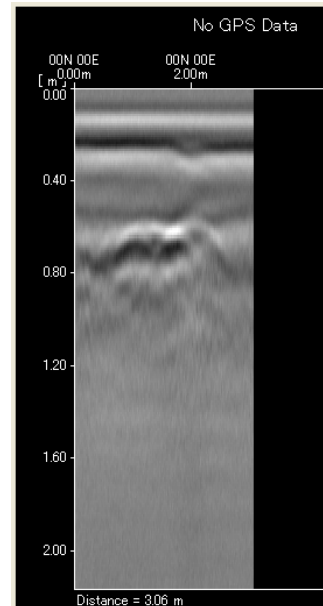
平面図



スコープ画像



異常信号画像



問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局道路部
道路保全企画官 石井 武(電話048-600-1323)
国土交通省道路局国道・防災課
課長補佐 信太啓貴(電話03-5253-8494)